

第7期 高知県保健医療計画 評価調書

資料1-1

評価項目	糖尿病	担当課名	医療政策課
------	-----	------	-------

第7期 高知県保健医療計画 記載内容

現状(医療計画策定時)	課題	対策	目標			
			項目	目標設定時	直近値 (計画評価時)	目標 (平成35年度)
<p>【予防の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●40～69歳の肥満状況 男性34.2% 女性20.2% ●運動習慣のある者 20～64歳男性20.4% 女性19.0% 65歳以上男性50.0% 女性38.2% ●特定健康診査受診率 46.6%(全国平均より3.5ポイント低い) ●特定保健指導実施率 14.6%(全国平均より2.9ポイント低い) ●市町村国保特定健康診査実施状況 個別15.2% 集団20.6% <p>【患者の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年齢調整外来受療率(人口10万人対) 99.4 ●特定健診受診者40～74歳で糖尿病が強く疑われる者 約2万8千人(対象人口の約8.2%) ●糖尿病の可能性を否定できない者 約3万2千人(対象人口の約9.3%) ●特定健診での未治療ハイリスク者 市町村国保602人 協会けんぽ330人 後期高齢者107人 ●特定健診での糖尿病治療者のうちHbA1c7.0%以上 1,485人 ●糖尿病合併症あり、糖尿病治療シセプトが無い者 市町村国保753人 協会けんぽ268人 ●人工透析患者 2,303人(人口1万人当たり31.8人) ●新規透析導入患者 276人 うち、糖尿病性腎症 115人(41.7%) 人口10万人当たりでは15.8人 ●糖尿病網膜症により新規硝子体手術を受けた患者数 77人 人口10万人対10.6人 ●年齢調整死亡率 男性6.1 女性2.1 ●外来栄養食事指導科SCR 安芸35.1 中央77.3 高幡12 幡多32.9 県62.5 ●受療動向(入院) 高幡、安芸は中央医療圏へ流出 30%～50%(10人～20人程度) <p>【医療提供体制の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病教室実施医療機関数 県35 安芸4 中央27 高幡1 幡多3 ●糖尿病内科医師数 県23 安芸0 中央21 高幡0 幡多1 ●糖尿病教育入院可能医療機関数 県66 安芸3 中央44 高幡5 幡多14 ●小児糖尿病治療実施可能医療機関数 県22 安芸3 中央12 高幡2 幡多4 ●日本糖尿病学会専門医在籍医療機関数 県23 安芸0 中央22 高幡0 幡多1 ●日本内分泌学会専門医在籍医療機関数 県14 安芸0 中央14 高幡0 幡多0 ●日本糖尿病学会糖尿病専門医 県42 安芸0 中央41 高幡0 幡多1 ●日本腎臓学会腎臓専門医 県26 安芸0 中央25 高幡0 幡多1 ●日本糖尿病療養指導士数 県162 安芸9 中央138 高幡1 幡多9 ●高知県糖尿病療養指導士数 県449 安芸164 中央206 高幡9 幡多70 ●24時間緊急時初期対応実施可能医療機関数 県56 安芸5 中央36 高幡4 幡多11 ●糖尿病の集学的治療実施可能医療機関数 県16 安芸2 中央11 高幡1 幡多2 ●糖尿病透析予防指導管理科の届出施設数 県14 安芸0 中央13 高幡0 幡多1 ●糖尿病腎症による透析実施可能医療機関数 県37 安芸3 中央27 高幡2 幡多5 ●管理栄養士配置医療機関数 県141 安芸9 中央107 高幡9 幡多16 ●外来栄養食事指導実施件数 県1023 安芸35 中央920 高幡10 幡多58 ●糖尿病網膜症への光凝固療法実施可能医療機関数 県38 安芸3 中央28 高幡2 幡多5 ●積極的に歯科健診を勧めている医療機関数 県157 安芸11 中央123 高幡5 幡多18 	<p>1. 予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ●危険因子啓発、特定健診等による健康状態把握・生活習慣改善による発症リスク低減必要 ●栄養・食生活習慣改善、運動習慣定着などの身体活動・運動習慣改善重要 <p>2. 患者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特定健康診査にて保健指導、受診勧奨実施するも、自覚症状無しのため未受診継続・受診中断あり ●上記には重症化進行に伴い、糖尿病性腎症を原疾患とする新規人工透析導入者も含まれるため対策必要 <p>3. 医療提供体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各職種間、紹介・逆紹介の連携体制が十分とは言えない ●糖尿病専門的医療従事者は県中央部へ集中 ●医療機関における管理栄養士による外来栄養食事指導実施件数及び連携体制が十分ではない。 	<p>1. 予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ●危険因子の知識普及(県) ●インセンティブ事業による健康づくりの県民運動展開(県) ●未受信者への受診勧奨、がん健診とのセット化といった環境整備、健診受診率の向上(県、保険者) ●従事者研修、体制強化による特定保健指導の充実(県、保険者) ●健診後未治療ハイリスク者の受診勧奨強化(県、保険者) ●専門医師による講演など実施(県、市町村、医師会、歯科医師会) ●公開講座など実施(県、医師会、歯科医師会) ●広報紙やラジオ、テレビでの県民への広報、事業主と連携した職場での啓発活動(県) <p>2. 患者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病性腎症重症化予防プログラムにおいて、未受診者・治療中断者へ受診勧奨及び危険性に対する情報提供等の保健指導実施 ●同プログラムにおいて、重症化ハイリスク者への病診連携、外来栄養食事指導、保健指導のいずれか又は組み合わせを実施 <p>3. 医療提供体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って保険者への情報提供・保健指導(かかりつけ医) ●医療資源の地域偏在緩和のため高知県糖尿病療養指導士との連携推進(県、医師会) ●糖尿病患者に対する積極的歯科健診受診勧奨(医師会、歯科医師会) ●糖尿病連携手帳を活用し多職種との連携を図る ●外来栄養食事指導推進事業を推進し(県、栄養士会)、外来栄養食事指導実績向上(協力医療機関)、管理栄養士不在診療所等からの紹介患者の病診連携に取り組む 	<p>1. 糖尿病有病者数(40～74歳)</p> <p>2. 糖尿病予備群数</p> <p>3. 健康パスポート交付者数</p> <p>4. 特定健康診査受診率</p> <p>5. 特定保健指導実施率</p> <p>6. 公開講座、啓発活動開催</p> <p>7. 運動によるインセンティブ事業実施市町村数</p> <p>8. 健康パスポートと連携した運動イベント数</p> <p>1. 108人</p> <p>2. 77人</p> <p>3. 179</p> <p>4. 今後検討</p> <p>5. 1,039人</p> <p>6. 1,485人</p> <p>7. 今後検討</p> <p>8. 今後検討</p> <p>9. 今後検討</p> <p>10. 今後検討</p> <p>11. 今後検討</p> <p>12. 今後検討</p> <p>13. 今後検討</p> <p>14. 今後検討</p> <p>15. 安芸 35.1 中央 77.3 高幡 12 幡多 32.9</p>	<p>1. 32,993人(H30年度)</p> <p>2. 39,779人(H30年度)</p> <p>3. 41,787名(R1.10月末)</p> <p>4. 48.2%(H28年度)</p> <p>5. 18.0%(H28年度)</p> <p>6. 行っている(R1年度)</p> <p>7. 27(R1.10月末)</p> <p>8. 31(R1.10月末)</p> <p>1. 118人(H27～H29の平均値)</p> <p>2. 63人(H29)</p> <p>3. 176(H29)</p> <p>4. 249人(H30年度)</p> <p>5. 242人(H30年度)</p> <p>6. 1,677人(H28)</p> <p>7. 未治療ハイリスク者107人、治療中断者99人(H30年度)</p> <p>8. 未治療ハイリスク者38人、治療中断者44人(H30年度)</p> <p>9. 110人(H30年度)(対象者へ連絡票を渡した数)</p> <p>10. 69人(H30年度)</p> <p>11. 2人(H30年度)</p> <p>12. 1人(H30年度)</p> <p>13. 9人(H30年度)</p> <p>14. 7人(H30年度)</p> <p>15. 安芸 59.6 中央 78.8 高幡 15.8 幡多 34.4(H29)</p>	<p>1. 増加させない</p> <p>2. 30,000人以下</p> <p>3. 50,000人</p> <p>4. 70%</p> <p>5. 45%</p> <p>6. 各保健医療圏ごとに年1回以上</p> <p>7. 34市町村</p> <p>8. 100以上</p> <p>1. 増加させない</p> <p>2. 増加させない</p> <p>3. 200以上</p> <p>4. 今後検討</p> <p>5. 500人以下</p> <p>6. 700人以下</p> <p>7. 1,000人以上</p> <p>8. 今後検討</p> <p>9. 今後検討</p> <p>10. 今後検討</p> <p>11. 今後検討</p> <p>12. 今後検討</p> <p>13. 今後検討</p> <p>14. 今後検討</p> <p>15. 各医療圏100以上</p>	

糖尿病の医療体制構築に係る現状把握のための指標

資料1-2

●国の作成指針で示された指標 ■県独自で追加した指標

初期・安定期治療		安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計等	出典等
			中央東	高知市	中央西				
ストラクチャー指標	●糖尿病内科(代謝内科)医師数	H22	0	8	8	2	0	1	19
		H24	0	8	10	3	0	0	21
		H26	2	19	32	7	0	6	66
		H28	3	21	33	9	0	4	70
	●糖尿病内科(代謝内科、内分泌代謝内科)を標榜する医療機関数	H24.2	0	4	16	3	0	1	24
		H27.8	0	7	18	5	0	1	31
		H28.8	0	4	15	4	0	1	24
		H30.11	0	7	17	4	0	3	31
	●糖尿病教室等の患者教育を実施する医療機関数	R1.11	0	8	17	3	0	3	31
		H24	4	4	20	5	1	7	41
●管理栄養士を配置している医療機関数	H29	4	5	16	5	1	4	35	
	H24	7	18	75	14	10	17	141	
プロセス指標	●健康診断・健康検査の受診率(40~74歳)	H22	59.8%[男62.1%、女57.5%] (全国64.3%)					国民生活基礎調査(大規模は3年ごと)	
		H25	55.3%[男58.8%、女52.3%] (全国62.3%)						
		H28	67.7%[男70.5%、女66.5%] (全国71.0%)						
		H20	248[男229、女264] (全国260[男241、女273])						
	●高血圧性疾患患者の年齢調整外来受診率(人口10万人対)	H22	77.0%[男72.7%、女82.1%] (全国78.2%[男75.6%、女81.3%])					患者調査補正值	
		H25	H25調査ではなし。						
	●検診を契機に受診した患者数(20歳以上の受診率)	H23	32.1% (全国38.1%)					H23県民健康・栄養調査/国民健康・栄養調査	
		H24	0	0	0	0	1		0
	●肥満者の割合(20歳以上)	H24	10	22	61	19	13	15	140
		H24	8	14	32	6	1	6	67
●住民への啓発活動	H29	11	36	63	23	12	24	169	
	H24	10	22	61	19	13	15	140	
●糖尿病患者に対し積極的に歯科検診を進めている医療機関の割合	H24	8	14	32	6	1	6	67	
	H29	11	36	63	23	12	24	169	
アウトカム指標	●糖尿病とその予備軍の割合(HbA1c 5.6以上:20歳以上)	H23	19.5% (全国23.6%)					H23県民健康・栄養調査/国民健康・栄養調査	
		H23	28.5% (全国33.0%)						
	●治療中断率	未受診者	8.9% (全国13.5%)					人口動態特殊報告(5年ごと)	
		治療を受けたことはあるが今は治療していない	8.9% (全国13.5%)						
	●年齢調整死亡率(人口10万人対)	男	10.64	4.95		2.43	5.60	6.70	人口動態特殊報告(5年ごと)
		女	6.03	3.68		2.10	1.85	3.42	
		男	6.1(全国5.5)					人口動態特殊報告(5年ごと)	
		女	2.1(全国2.5)						
	●年齢調整受診率(人口10万人対)	H23	332.1	312.4		267.0	242.8	36.7	H23県患者動態調査
		H20	37.3	36.6		26.0	49.8	36.7	
●退院患者平均在院日数	H23	96.6 (全国36.1)					患者調査(3年ごと)		
	H26	41.0 (全国35.5)							
●糖尿病腎症による新規透析導入率(人口10万人対)	H29	66.5 (全国33.3)					日本透析医学会(各年新規透析導入患者)		
	H17	11.3							
●糖尿病腎症による新規透析導入率(人口10万人対)	H19	18.0							
	H21	14.0							
●糖尿病腎症による新規透析導入率(人口10万人対)	H23	16.3							
	H25	15.2							
●糖尿病腎症による新規透析導入率(人口10万人対)	H27	15.8							
	H28	16.4							

専門治療		安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計等	出典等
			中央東	高知市	中央西				
ストラクチャー指標	●教育入院を行う医療機関数	H24	5	11	27	8	4	10	65
		H29	2	11	24	9	4	15	65
	●糖尿病専門外来のある医療機関数	H24	1	3	14	4	0	1	23
		H29	1	4	20	3	0	2	30
	●糖尿病看護認定看護師	R1.11	1	6	21	3	0	2	33
		H23.12							3
		H25.12							6
		H27.8							8
		H29.12							7
	●日本糖尿病療養指導士数	H30.11							7
R1.11								6	
H24.11		9	28	94	19	2	8	160	
H26.6								176	
H28.6								171	
●日本糖尿病学会専門医数	H30.6							163	
	H24.11	1	11	24	3	0	1	40	
	H26.5	0	11	24	2	0	1	38	
	H28.8	0	14	25	2	0	1	42	
	H30.10	0	13	25	2	0	1	41	
●日本内分科学会専門医数	R1.11	0	13	27	2	1	1	44	
	H24.5	0	9	7	1	0	0	17	
	H26.6	0	6	10	1	0	0	17	
	H28.4	0	6	8	1	0	0	15	
	H30.10	0	5	8	1	0	0	14	
●小児の糖尿病治療が可能な医療機関数	R1.11	0	0	14	1	0	0	15	
	H24	1	1	9	2	2	4	19	
プロセス指標	●特定健診要医療率	H29	3	5	6	0	3	5	22
		H22	31.2%	29.7%	34.3%	28.8%	33.7%	32.5%	市町村国保特定健康診査
	H25	26.5%	25.3%	28.1%	25.6%	26.3%	29.9%		
	H26	28.2%	27.4%	28.8%	27.5%	28.2%	29.9%		
	H30	31.3%	25.2%	30.3%	22.8%	26.2%	25.0%		
	●血圧要医療率	H22	50.9%	44.9%	37.1%	50.7%	49.6%	50.6%	市町村国保特定健康診査
		H25	52.9%	48.8%	48.1%	50.3%	52.9%	49.7%	
		H26	53.3%	48.5%	47.3%	52.1%	52.7%	50.9%	
		H30	60.3%	52.0%	52.2%	46.7%	50.7%	53.5%	
	●肥満要指導率	H22	33.3%	25.2%	22.6%	27.5%	25.4%	24.2%	市町村国保特定健康診査
H25		33.4%	27.9%	24.2%	26.9%	26.4%	25.3%		
H26		33.5%	27.5%	23.7%	26.7%	26.3%	25.6%		
●メタボ該当者率	H30	34.0%	31.1%	27.3%	28.5%	26.7%	27.2%	市町村国保特定健康診査	
	H22	21.1%	18.1%	16.1%	18.0%	18.1%	19.8%		
	H25	20.4%	18.7%	17.5%	17.0%	17.2%	17.9%		
●メタボ該当者率	H26	21.8%	19.0%	17.6%	17.4%	17.6%	18.5%	市町村国保特定健康診査	
	H29	23.2%	22.4%	21.6%	19.0%	21.3%	20.3%		
	H30	23.2%	22.4%	21.6%	19.0%	21.3%	20.3%		
アウトカム指標	●年齢調整死亡率(再掲)	初期・安定期治療と同じ							
	●年齢調整受診率(再掲)	初期・安定期治療と同じ							
	●退院患者平均在院日数(再掲)	初期・安定期治療と同じ							
	●糖尿病腎症による新規透析導入率(再掲)	初期・安定期治療と同じ							

急性憎悪時治療		安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計等	出典等	
			中央東	高知市	中央西					
ストラクチャー指標	●24時間緊急時の初期対応が行える医療機関数	H24	6	8	19	8	5	8	54	県医療機能調査
		H29	5	12	19	7	5	16	64	
アウトカム指標	●年齢調整死亡率(再掲)	初期・安定期治療に同じ								
	■年齢調整受療率(再掲)									
	●退院患者平均在院日数(再掲)									
	●糖尿病腎症による新規透析導入率(再掲)									

慢性合併症治療		安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計等	出典等	
			中央東	高知市	中央西					
ストラクチャー指標	●糖尿病網膜症のレーザー治療が可能な医療機関数	H24	3	5	16	3	4	34	県医療機能調査	
		H29	1	7	19	2	5	36		
		H24.11	1	0	13	4	0	18		
	●糖尿病足病変に関する指導を実施する医療機関数 (糖尿病合併症管理料の届出機関数)	H26	0	2	16	1	4	24	診療報酬施設基準 (毎月)	
		H27.8	1	1	16	1	0	19		
		H28.8	1	1	16	4	0	22		
		H30.10	1	2	16	3	0	23		
		R1.11	2	2	16	4	0	25		
		H24.5	1	3	20	1	1	30		
	■日本糖尿病協会登録歯科医師数	H26	0	2	17	1	1	25	日本糖尿病協会	
		H27.8	0	2	16	1	1	23		
		H28.8	0	2	15	1	1	22		
		H30.11	0	2	16	1	1	23		
		R1.11	0	2	11	0	0	16		
	■糖尿病透析予防管理指導料の届出医療機関数	H24	1	3	9	3	1	18	H24県医療機能調査	
H26.6		0	3	9	4	1	18			
H28.8		0	2	10	3	0	16			
H30.10		0	2	9	3	0	15			
R1.11		0	2	9	4	1	18			
■腎不全に対して人工透析が可能な医療機関数	H24	3	6	16	4	3	38	県医療機能調査		
	H29	3	7	16	3	3	37			
アウトカム指標	●糖尿病を基礎疾患に持つ患者の脳卒中発生率 (脳卒中患者における糖尿病を基礎疾患に持つ者の割合)	H25.2~	26.9%	24.7%	25.0%	24.0%	22.5%	25.0%	24.7%	県脳卒中患者実態調査
		H26.1	未治療 8.3%	5.0%	6.4%	3.1%	4.2%	7.7%	5.7%	
		H26.2~	28.4%	20.5%	24.9%	21.7%	27.1%	22.9%	23.9%	
		H27.1	未治療 9.8%	6.1%	7.7%	4.5%	7.7%	5.6%	6.9%	
		H27.2~	23.6%	23.2%	26.4%	20.3%	26.2%	24.9%	24.6%	
		H28.1	未治療 8.0%	7.0%	6.2%	4.3%	5.6%	5.8%	6.1%	
		H28.2~	24.8%	21.3%	26.1%	22.7%	23.9%	16.4%	23.4%	
		H29.1	未治療 9.8%	7.5%	6.6%	4.7%	2.8%	3.7%	6.0%	
		H29.1~	25.0%	24.3%	24.8%	25.1%	25.1%	20.0%	24.3%	
		H29.12	未治療 9.4%	8.1%	6.4%	6.3%	3.5%	8.4%	6.8%	
		H30.1~	19.7%	22.4%	24.9%	18.8%	19.5%	23.2%	22.7%	
		H30.12	未治療 4.6%	6.5%	6.1%	4.9%	3.5%	3.1%	5.3%	
	■糖尿病網膜症に対する硝子体手術を行った実患者数	H24	0	48	87	0	1	0	136	H24県医療機能調査
	■糖尿病網膜症に対するレーザー治療を行った実患者数	H24	15	109	232	61	27	21	465	
	アウトカム指標	●年齢調整死亡率(再掲)	初期・安定期治療に同じ							
■年齢調整受療率(再掲)										
●退院患者平均在院日数(再掲)										
●糖尿病腎症による新規透析導入率(再掲)										

その他の指標		実人数	人口10万対	出典等
高知県における新規硝子体手術を受けた糖尿病患者数(PDR) (人口10万人対)	H23	77	10.2	高知大学医学部データ
	H24	72	9.6	
	H25	108	14.5	
	H26	75	10.2	
	H27	77	10.5	
	H28	73	10.1	
	H29	63	8.8	

全国との比較		全国	高知県	出典等
糖尿病腎症による新規透析導入率(人口10万人対)の全国との比較	H22	12.7	16.2	日本透析医学会(各 年新規透析導入患 者)、人口動態調査
	H23	13.1	16.3	
	H24	12.7	14.1	
	H25	12.6	15.2	
	H26	12.4	13.1	
	H27	12.6	15.8	
	H28	12.7	16.4	
特定健康診査受診率(%)の全国との比較	H22	42.6%	38.1%	厚生労働省特定健康 診査・特定保健指導 に関するデータ
	H23	44.0%	41.5%	
	H24	45.6%	43.4%	
	H25	47.1%	42.9%	
	H26	48.6%	44.7%	
	H27	50.1%	46.6%	
特定保健指導の実施率(%)の全国との比較	H22	13.3%	12.7%	
	H23	15.3%	15.1%	
	H24	16.8%	15.6%	
	H25	18.0%	15.5%	
	H26	17.8%	15.8%	
	H27	17.5%	14.6%	
H28	18.8%	18.0%		

項目	番号	P(計画)	D(実行)	C(評価)	A(改善)	
					課題	今後の対策
予 防	1	【健康長寿政策課】 (生活習慣の改善) 健康づくりロメロ(30秒テレビ広報、年間102回)による 栄養・運動・ストレス・喫煙・飲酒・血管病の重症化予防・高 血圧等の啓発 ・高血圧対策サポーター企業による高血圧の啓発 ・減塩プロジェクトによる減塩等の啓発 ・高知家健康パスポート事業による健康づくりの県民運動 の展開	・健康づくりロメロによる啓発 栄養8回、運動5回、ストレス5回、喫煙10回、飲酒4回、血管病の重症化予防5回、高血圧5 回放送 ・高血圧対策サポーター企業による啓発 認定企業520事業所(H31.3月末)(コンビニ、薬局等)による高血圧予防の啓発(家庭血圧 測定、運動、野菜摂取)を展開(通年) ・減塩プロジェクトによる啓発 参加企業34社(H31.3月末)(スーパー、食品メーカー等)による減塩の啓発や減塩商品の 紹介等を展開(通年) ・高知家健康パスポート事業 パスポート取得者数36,030名(H31.3月末) パスポートⅢへのランクアップの導入(4月) マイスターへのランクアップの導入(9月) 健康パスポートアプリの配信(9月)	・マスメディアの利用により、県民への啓発を行うことができた。 ・H30年度は、高血圧対策サポーター企業を115社認定し、高血圧対策に取り組む事 業所が増加した。 ・店頭POPの配布により減塩プロジェクト参加企業による減塩に関する啓発を行え た。 ・健康パスポート取得者数の増加が図られた。また、更なるパスポートのランクアップ や、アプリにより日々の歩数や血圧・体重測定の記録でポイントが貯められるよう になり、血圧記録の測定等健康づくりの推進の充実が図れた。	・引き続き、より良い生活習慣に関する県民への 啓発が必要。 ・引き続き、官民協働による高血圧対策、減塩対 策の取り組みが必要。 ・男性の取得が女性に比べて少なく、また健康無 関心層へ健康づくりを波及させる仕組みが必要。	・テレビ放送による啓発を継続する。 ・民間企業との連携による取り組みを継続する。 ・高知家健康サポーターからの呼びかけによる健康無関 心層への健康づくりの波及や、スマートフォンアプリを活 用した身近な健康づくりを促進する。
	2	【福祉保健所】 (生活習慣の改善) ・幡多福祉保健所・医療機関・市町村・団体が連携した啓 発イベントの開催	・6月、四万十市の量販店において「わくわく食育イベント」を開催。血管・脳年齢の測定、野 菜の重量当て、栄養・健康・薬・歯科相談、体操等のブースを設置し、来店客に生活習慣改 善の啓発を行った。	・来客が多い量販店で開催したことで、幅広い年齢への啓発が実施できた。 ・主催者間の顔の見える関係づくりが進展した。	・なし	・次年度も継続実施する。
	3	【医師会・CDE高知・福祉保健所】 (生活習慣の改善) ・東部地区の関係機関が連携した啓発活動の実施	・安芸元気フェスタ(11/4)、室戸元気フェスタ(11/10)への血糖測定、健康相談、フードモデ ル展示コーナーの出展	・多数の市民に血糖コントロールや食事について啓発することができた。	・なし	・次年度も継続実施する。
	4	【高知県医師会・日本糖尿病協会高知県支部】 (糖尿病の知識の普及) ・市民公開講座の開催	・世界糖尿病デーにあわせ、11/18(日)に高知市で開催	・CDE高知東部地区の劇団トープスによる啓発寸劇「あなたの心臓は大丈夫!?～腎臓 にやさしい生活とは～」により、わかりやすい啓発が実施できた。	・なし	・住民への知識普及の機会として、次年度も継続実施す る。
	5	【福祉保健所】 (糖尿病の知識の普及) ・安芸福祉保健所による糖尿病講座の開催	・糖尿病に関する知識を地域ぐるみで普及することを目的に健康づくり団体を対象とした糖 尿病講座を開催(10/12・33名参加)	・各市町村の健康づくり団体ごとの取り組みを共有することで、協力しながらできるこ とを考える場となった。	・なし	・次年度も継続実施する。
	6	【健康長寿政策課】 (健康診断の受診率向上) ・特定健診、特定保健指導の受診率向上対策	・40歳代前半(約8,000人)を対象とした受診勧奨リーフレット(知事からの手紙)を市町村か ら対象者に配付(10月) ・国保被保険者が所属する団体(JA等)と連携した受診勧奨の実施(9・10月) ・県栄養士会の特定保健指導受託体制を強化するため補助事業を実施(通年) ・特定保健指導従事者のスキルアップを図るため研修会を開催(8月初任者編1回、9・10月 経験者編全2回)	・平成30年度の市町村国保の特定健診受診率は増加の見込み。(R1.6月調査で前年 度同月比1.73ポイント上昇、40～44歳は1.37ポイント上昇) ・県栄養士会で県の補助なく巡回型特定保健指導が実施できる体制が構築でき、県 内の特定保健指導実施体制の強化が図られた。	・特定健診、特定保健指導の実施率は上昇してい るものの、全国平均には到達しておらず、さらなる 取り組みの推進が必要。 ・市町村国保の60歳代前半の男性の特定健診の 受診率の伸びが女性に比べて低い。	
患者への 対応	7	【健康長寿政策課】 (糖尿病の重症化予防) ・高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく重 症化予防対策	・国保連合会から毎月市町村に対象者名簿を通知(5月～)、対象者名簿の作成を自動化で きるよう作成ツールを改良(9月) ・市町村担当者を対象に取組の推進に関する説明会を開催(5・1月全2回) ・従事者向けの資質向上研修会の開催(7/9) ・かかりつけ医へのプログラム周知を図るため糖尿病講演会を開催(須崎11/12、高知 11/19、幡多1/30) ・重症化予防プログラムの概要や専門医への紹介基準等を掲載したリーフレットを作成配 布(2月)	・国保連合会より市町村へ毎月対象者を通知することにより、市町村の取り組みを支 援できた。 ・医療機関向けの講演会の開催やリーフレットの配布により、かかりつけ医へプロ グラムの取り組みの啓発を行えた。	・未治療ハイリスク者及び治療中断者への受診勧 奨の体制は構築できたが、対象者への介入率が 100%に至っていない。 ・治療中で重症化リスクの高い者への介入につ いては、十分実施できていない市町村がある。 ・糖尿病の専門的医療機関以外の病院、診療所 の多くでは、外来看護師は患者への生活指導に 十分な対応ができていない。	・市町村へ糖尿病看護の専門家等をアドバイザーとして 派遣し、保健指導等の取り組みを支援する。 ・モデルとする基幹病院において血管病調整看護師を育 成し、生活指導体制の充実を図る。
	8	【高知県医師会】 (専門職のスキルアップ) ・勉強会等でのCDE高知単位取得機会の確保	・CDE高知の単位も取得もできる日本医師会生涯教育講座認定研修会の認定(高知糖尿 病研究会:10回・358人参加)	・医師以外の職種の参加が多く、平均参加者数35名と盛況であった。	・なし	・今後も認定を継続する。
医療 提供体制	9	【高知県栄養士会】 (専門職のスキルアップ等) ・生涯教育や栄養CS登録者研修会の実施により活動で きる管理栄養士の育成を図る。 ・栄養指導技術の向上のため、継続してスキルアップ研 修会の開催と栄養指導のデータ集積を行ない外来栄養 指導に対するアンケート調査を行い実態把握と課題整理を 行う。	・栄養指導技術のスキルアップのため生涯教育を年間10日間開催し、延べ303名が受講。 ・外来栄養指導推進研修会を2回開催し、延べ178名が受講。 ・協力医療機関の医師と管理栄養士に対し、栄養指導に関するアンケート調査を 実施。 ・12月末まで栄養指導のデータ集積を行い、結果の評価、分析を実施。 ・平成29年度、30年度の取組結果やアンケート調査の結果も含めた「外来栄養指導 推進事業報告書」(冊子)を作成。	・計画どおり研修会を開催し、栄養指導技術のスキルアップを図ることができた。 ・協力医療機関による月平均外来栄養指導指導件数は、H29年度912.9件からH30年 度978.4件と65.5件増加したものの、1医療機関当たり換算すると12.3件から12.9件 と0.6件の増加にとどまった。 ・協力医療機関で月平均指導件数が1件に満たない施設は両年度とも同じ医療機 関で29件と変化なし。患者が高齢であるため、指導しても理解・改善は困難だと医師が 判断しているためであった。 ・栄養指導目的の紹介患者数は、月平均5.2人から7.1人と約2人増加。うち、糖尿病 患者とその割合は、3.6人・68%から5.8人・82%と約2人・14%増加。糖尿病性腎症重 症化予防プログラム導入の成果と推測される。 ・栄養指導の前後のデータ分析では、体重・血糖値・HbA1cが有意に低下、菓 子・清涼飲料水の利用頻度・運動習慣等の行動変容が認められ、糖尿病の重症化予 防に向けて栄養指導の成果が認められた。	・活動できる管理栄養士の育成と発掘が更に必 要。 ・診療所においても栄養指導を受けられるこ とができる体制整備が必要。 ・協力医療機関での外来栄養指導指導件数の増 加及び効果的な実施。	・栄養指導技術の向上のため、継続してスキルアップ研 修会を開催する。また、生涯教育や栄養CS登録者研 修会の実施により活動できる管理栄養士の育成を図る。 ・栄養ケア・ステーションに専任コーディネーターを配置 し、診療所で栄養指導を受けられるよう管理栄養士 の派遣調整等体制整備を行う。 ・協力医療機関からの外来栄養指導報告書の集計 と分析を行い、事業の推進及び指導件数の増加に 向けた啓発を行う。
	10	【福祉保健所】 (専門職のスキルアップ・連携促進) ・幡多福祉保健所による糖尿病重症化予防に関する研 修会の開催 ・安芸福祉保健所による糖尿病研修会の開催	【幡多福祉保健所】医療機関や市町村の管理栄養士・保健師を対象に糖尿病性腎症に 関する講演会を開催。患者への指導のロールプレイング「糖尿病患者のやる気を引き出す コーチング」も実施した。(2/18・36名参加) 【安芸福祉保健所】高知県糖尿病療養指導士や栄養士等の資質向上・ネットワークづく りを目指した糖尿病研修会を開催した。(2回・96名参加)	【幡多福祉保健所】糖尿病性腎症の具体的な指導の留意点やコーチングのスキル を学ぶ場を提供することができ、今後の指導効果の向上が期待される。 【安芸福祉保健所】地域における連携と協働、ヘルスプロモーションを活用した糖尿 病対策の展開方法、呉市の重症化予防プログラムの推進手法等を学ぶ場を提供す ることができ、今後、関係機関の取組に反映されることが期待される。	・なし	・次年度も継続実施する。
	11	【医師会・薬剤師会・CDE高知・福祉保健所】 (専門職のスキルアップ・連携促進) ・東部地区の関係機関が連携した活動の実施	・CDE高知東部地区勉強会(7/30・87名参加) ・日本糖尿病療養指導学会でのCDE高知東部地区の活動発表(7/28～29) ・ΔeGFRデータの管理に関する講習会(8/30・12名参加)	・CDE高知東部地区勉強会で劇団トープスによる啓発寸劇「あなたの心臓は大丈夫!? ～腎臓にやさしい生活とは～」を発表。住民向け啓発として、わかりやすく訴求でき るものとなった。	・寸劇制作の労力が多大 ・寸劇の汎用化	・次年度も継続実施する。 ・寸劇のDVD化を検討する。
	12	【健康長寿政策課】 (歯科健診の受診勧奨) ・糖尿病の合併症である歯周病との関連を紹介したリー フレットによる啓発 ・全市町村が参加する県内統一の成人歯科健診制度の創 設	・歯科医療機関等において、リーフレットを活用した歯科検診の受診勧奨を実施した。 ・県内統一の成人歯科健診の仕組みの創造に向けて、市町村と関係機関(県歯科医師会、 国保連合会)との調整を実施した。	・歯科医院で定期的な歯科健診を受診している者の割合が増加(H27.45%→H29.49%) した。	・成人歯科健診未実施の4市町村へ実施開始に むけた働きかけが必要。 ・歯周病の早期発見早期治療の重要性の啓発	
	13	【医療政策課】 (外来栄養指導の体制整備) ・外来栄養指導推進事業の推進	【協力医療機関制度】 ・高知県栄養士会への事業委託(5/1) ・協力医療機関の募集文書の発出(5/10) ・外来栄養指導推進事業の説明会(6/14) ・協力医療機関の取組状況等のヒアリング(5/17・3病院) ・協力医療機関リスト(県ホームページ)の更新 【管理栄養士雇用促進の仕組みづくりの検討】 ・診療所の経営、受診の利便性を考慮し、診療所が管理栄養士を非常勤雇用し、診療所 で指導を受けられる体制づくりの検討 ・診療所に対する管理栄養士紹介制度活用意向調査(10月)	【協力医療機関制度】 ・協力医療機関は77医療機関と2医療機関の増加にとどまった。 ・診療所から協力医療機関への患者紹介の伸び悩みは、紹介患者の紹介先への流 出への危惧、患者の通院の利便性の低下が理由と推測される。 【管理栄養士雇用促進の仕組みづくりの検討】 ・21診療所が人件費補助があれば管理栄養士の雇用を希望すると回答。	・管理栄養士雇用の人件費分を助成する補助金 と高知県栄養士会の栄養ケア・ステーション制 度を活用した管理栄養士の診療所への紹介制 度を組み合わせた新たな仕組みの創設	・次年度、高知県栄養士会への外来栄養指導推進 事業委託業務に栄養ケア・ステーションへの管理栄養士 紹介調整業務等を担うコーディネイト業務を追加すると ともに、管理栄養士の人件費の一部を補助する管理栄養士 雇用促進費補助金を創設し、診療所の活用を促す。

高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの市町村の取り組み状況(令和元年9月末時点の状況報告)

資料1-4

【プログラムⅠ：未治療ハイリスク者（H30.5月～R1.9月の取り組み状況）】

①平成29年度特定健診受診者

配信名簿 (平成30年5月～ 平成30年8月)	当該月の国 保連合会 名簿新規対 象者数 (A)	Aのうち、 市町村での 介入対象者 数 (B)	Bのうち、 介入人数 (C)	Cのうち、 医療機関受 診した人 (D)	
				介入割合 C/B	受診割合 D/C
高知市	56	-	-	-	-
安芸	19	13	8	61.5%	37.5%
中央東	27	18	16	88.9%	50.0%
中央西	22	19	13	68.4%	38.5%
須崎	28	15	13	86.7%	53.8%
幡多	40	30	30	100.0%	26.7%
県全体	192	95	80	84.2%	38.8%

②平成30年度特定健診受診者

配信名簿 (平成30年9月～ 令和元年8月)	当該月の国 保連合会 名簿新規対 象者数 (A)	Aのうち、 市町村での 介入対象者 数 (B)	Bのうち、 介入人数 (C)	Cのうち、 医療機関受 診した人 (D)	
				介入割合 C/B	受診割合 D/C
高知市	75	22	22	100.0%	31.8%
安芸	18	18	12	66.7%	66.7%
中央東	42	22	13	59.1%	38.5%
中央西	24	21	14	66.7%	35.7%
須崎	31	10	9	90.0%	44.4%
幡多	52	38	37	97.4%	24.3%
県全体	242	131	107	81.7%	35.5%

【プログラムⅠ：治療中断者】 (H30.5月～R1.9月の取り組み状況)

①平成30年度対象者

配信名簿 (平成30年5月～ 平成10年3月)	当該月の国 保連合会 名簿新規対 象者数 (A)	Aのうち、 市町村での 介入対象者 数 (B)	Bのうち、 介入人数 (C)	Cのうち、 医療機関受 診した人 (D)	
				介入割合 C/B	受診割合 D/C
高知市	114	58	58	100.0%	46.6%
安芸	20	6	3	50.0%	33.3%
中央東	42	32	13	40.6%	38.5%
中央西	32	14	5	35.7%	20.0%
須崎	12	10	4	40.0%	50.0%
幡多	29	17	16	94.1%	50.0%
県全体	249	137	99	72.3%	44.4%

<未治療ハイリスク者について>

- ・高知市は、H29健診受診者に対してはH29に対応済み。
- ・介入者の約4割は受診につながっているが、受診勧奨を行っても未受診の理由として「医療機関の受診の必要性について理解されなかった」「仕事が忙しく、休めない」「過去に受診したが医師に問題ないと言われた」などの反応が多かった。

<治療中断者について>

- ・対象者名簿からレセプトを確認し、医療につながっている者などを除外し介入対象者としている。
- ・介入後、受診につながる割合は44%と少なく、受診勧奨後も未受診の理由としては「医療機関の再受診の必要性について理解されなかった」「経済的に不安、金銭の余裕がない」などの反応があった。

高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの市町村の取り組み状況(令和元年9月末時点の状況報告)

資料1-4

【プログラムⅡ 治療中ハイリスク者】(H30.5月～R1.9月の取り組み状況)

①平成29年度特定健診受診者

平成29年度健診受診者 (配信名簿 平成30年5月)	対象者へ介入を 実施した市町村 数 (A)	Aのうち、 市町村での 介入対象者数 (B)	Bのうち、 介入人数 (通知や訪問等) (C)	Cのうち、 対象者へ連絡 票を渡した数 (D)	返信 数	医療機関からの返信				②-2b、②-3b のうち、 情報提供料の 請求があった件数	②-2b、②-3b のうち、 保健指導が 終了した件数	保健指導実施の評価(内訳)						
						①「プログラムを 利用しない」数	②「プログラムを利用する」数					改善した	変わらない	悪化した	(評価できない (分らない))			
							②-1 専門医療機関 (栄養指導あり) との連携数	②-2 専門医療機関(栄養食事指導なし) との連携数								②-3 かかりつけ医での 血糖管理、血圧管理		
高知市	0/1																	
安芸	3市町村(/9)	15	9	8	6					6	5	1						1
中央東	3市町村(/7)	51	30															
中央西	2市町村(/6)	55	7	3	3	1				2	2	2	2					
須崎	3市町村(/5)	47	9	7	7	5			1	1	2							
幡多	5市町村(/6)	101	93	87	44	33			1	5	5	6	5	3	2			
県計	16市町村	269	148	105	60	39			2	5	14	15	8	5	2			1

②平成30年度特定健診受診者

平成30年度健診受診者 (配信名簿 平成30年6月～ 令和元年5月)	対象者へ介入を 実施した市町村 数 (A)	Aのうち、 市町村での 介入対象者数 (B)	Bのうち、 介入人数 (通知や訪問等) (C)	Cのうち、 対象者へ連絡 票を渡した数 (D)	返信 数	医療機関からの返信数				②-2b、②-3b のうち、 情報提供料の 請求があった件数	②-2b、②-3b のうち、 保健指導が 終了した件数	保健指導実施の評価(内訳)						
						①「プログラムを 利用しない」数	②「プログラムを利用する」数					改善した	変わらない	悪化した	(評価できない (分らない))			
							②-1 専門医療機関 (栄養指導あり) との連携数	②-2 専門医療機関(栄養食事指導なし) との連携数								②-3 かかりつけ医での 血糖管理、血圧管理		
高知市	0/1																	
安芸	5市町村(/9)	33	14	6	6	1				5	4	5	1	2	1			1
中央東	3市町村(/7)	52	27	3														
中央西	4市町村(/6)	49	21	13	4	3	1											
須崎	3市町村(/5)	55	30	3	1	1												
幡多	6市町村(/6)	122	96	85	58	46	1	1		8	2	2						
県計	21市町村	311	188	110	69	51	2	1		8	7	6	5	1	2	1		1

＜治療中で重症化リスクの高い者について＞

- ・医療機関からの返信では、「プログラムを利用しない」は74%、協力医療機関の外来栄養食事指導への紹介は13%、保険者による保健指導となったのは10%であった。
- ・保険者による保健指導終了者は13人で、そのうち6人が改善となった。
- ・令和元年度は、取り組み市町村が増え、実績は順次伸びるものと思われる。

策課】

報告のあった協力医療機関数

- 平成29年度:74医療機関 / 75医療機関
- 平成30年度:76医療機関 / 77医療機関

栄養食事指導件数【月別】

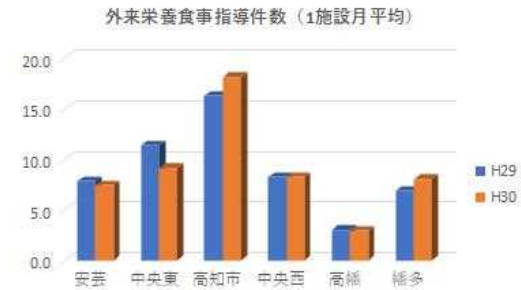
平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(9ヶ月)	月平均	月・施設平均
外来栄養食事指導件数				918	946	913	935	902	929	831	878	964	8,216	912.9	12.3
糖尿病患者の指導件数				457	484	478	465	457	461	446	474	505	4,227	469.7	6.3
糖尿病患者の指導件数の割合	事業未実施			50%	51%	52%	50%	51%	50%	54%	54%	52%	51%	51%	51%
栄養指導目的の紹介患者数				5	4	6	2	3	4	7	7	9	47	5.2	0.07
糖尿病患者紹介数				5	4	5	0	1	2	5	4	6	32	3.6	0.05
糖尿病患者紹介数の割合(%)				100%	100%	83%	0%	33%	50%	71%	57%	67%	68%	68%	68%

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(1年)	月平均	月・施設平均
外来栄養食事指導件数	946	988	988	1,033	1,022	937	1,048	991	995	951	901	941	11,741	978.4	12.9
糖尿病患者の指導件数	502	518	536	546	539	494	554	501	493	472	433	488	6,076	506.3	6.7
糖尿病患者の指導件数の割合	53%	52%	54%	53%	53%	53%	53%	51%	50%	50%	48%	52%	52%	52%	52%
栄養指導目的の紹介患者数	3	3	7	8	9	6	8	6	8	6	8	13	85	7.1	0.09
糖尿病患者紹介数	3	3	7	6	8	5	7	6	8	4	6	7	70	5.8	0.08
糖尿病患者紹介数の割合(%)	100%	0%	100%	75%	89%	83%	88%	100%	100%	67%	75%	54%	82%	82%	82%

- ◆協力医療機関における月平均指導件数は、912.9件から978.4件と65.5件増加。1医療機関当たりで換算すると12.3件から12.9件と0.6件増加している。指導件数の月別変動に一定の傾向は見られない。
- ◆糖尿病患者の指導件数は、469.7件から506.3件と月平均36.6件増加。1医療機関当たりで換算すると6.3件から6.7件と0.4件増加している。糖尿病の指導が、毎月、約1/2を占めていることがわかる。
- ◆栄養指導目的の紹介患者数は、月平均5.2人から7.1人と約2人増加。うち糖尿病患者数とその割合は、3.6人・68%から5.8人・82%と約2人・14%増加しており、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの導入成果と推測される。

栄養食事指導件数【保健医療圏別】

保健医療圏	平成29年度				平成30年度				1施設月平均増減数	増加率	
	報告施設数	指導件数	月平均	1施設月平均	報告施設数	指導件数	月平均	1施設月平均			
安芸	4	284	31.6	7.9	4	358	29.8	7.5	△ 0.4	95%	
中央	中央東	9	923	102.6	11.4	10	1,105	92.1	9.2	△ 2.2	81%
	高知市	39	5,750	638.9	16.4	38	8,295	691.3	18.2	1.8	111%
	中央西	8	599	66.6	8.3	8	799	66.6	8.3	0.0	100%
高幡	6	163	18.1	3.0	6	215	17.9	3.0	0.0	100%	
幡多	8	497	55.2	6.9	10	969	80.8	8.1	1.2	117%	
計	74	8,216	912.9	12.3	76	11,741	978.4	12.9	0.5	104%	



- ◆1医療機関当たりの月平均指導件数は、2年とも、最多は高知市、最少は高幡であった。高知市が多い要因は、複数の管理栄養士を擁する医療機関が多いこと、1機関であるが外来栄養食事指導専任(1名)を配置し、月平均120件以上指導する医療機関があるためと考えられる。
- ◆指導件数が増加したのは高知市及び幡多であった。6医療機関で年間80件（月平均7件）以上と大幅に指導件数が増加したことが主たる要因である。
- ◆中央西及び高幡は変化なし、安芸は5%、中央東は19%減少した。安芸は協力医療機関数が少ないため、指導件数が月平均約4件減少した医療機関の影響が大きく反映された。中央東でも、2医療機関の月平均約6件の減少が影響を及ぼした。
- ◆平成30年度に年間80件以上指導件数が増加した要因について各病院に聞き取りした結果は、次のとおりである。

* A病院

- ①管理栄養士1名の増加（産休からの復帰）
- ②医師がデータをとりたい時期に指示が増加

* B病院

腎臓内科を中心に、退院後、初の外来受診時に指導を入れる体制としたため。
（支援病院であるがゆえ、他院からの紹介が多く、継続指導にならないのが、残念。その分、退院後1ヶ月目の外来受診で指導を入れるようにしている。）

* C病院

患者からの継続指導要望があり、継続指導が増加したもの。次につながる指導・患者のモチベーションを上げる指導を心がけている。

* D病院

- ①管理栄養士1名の増加（育児休暇からの復帰）
- ②電子カルテで血液検査値の悪化が確認された場合や数ヶ月ぶりの受診時に医師に指導を要請するため。

* E病院

- ①電子カルテ導入により、医師からの指導票交付が簡便化したことによる指示の増加による。
- ②病院の新築移転に伴う患者の増加による。
- ③外来透析患者への介入の増加（医師から1回の血液検査結果が悪い場合、指導するよう指示あり。）

* F病院

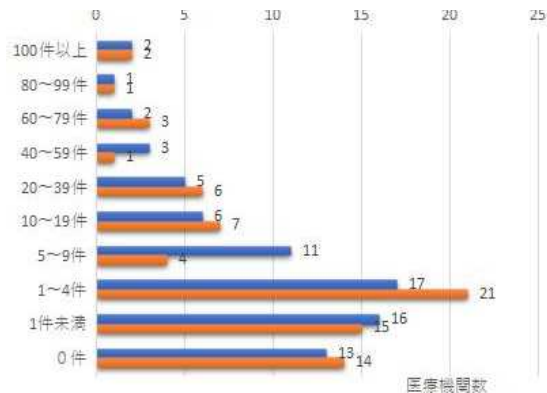
- ①電子カルテを導入し、栄養科で患者データを確認できるようになったことから、院長に指示出しを頻繁に要請できるようになった。
- ②次回指導の約束を直接患者と交わすようにしたことで、継続指導が増加。
- ③患者向けの月刊チラシ「食のおはなし」を作成し、院内での張り出し・配布を行うことで、患者から栄養士に気軽に相談できる雰囲気づくりを実施。

栄養食事指導件数【1医療機関当たり月平均・階層別】

月平均指導件数	H29年度	H30年度	増減数	増減率
---------	-------	-------	-----	-----



100件以上	2	2	0	100%
80～99件	1	1	0	100%
60～79件	3	2	△ 1	67%
40～59件	1	3	2	300%
20～39件	6	5	△ 1	83%
10～19件	7	6	△ 1	86%
5～9件	4	11	7	275%
1～4件	21	17	△ 4	81%
1件未満	15	16	1	107%
0件	14	13	△ 1	93%
計	74	76	2	103%



◆1医療機関当たりの月平均指導件数を階層別に見ると、指導が行われていない医療機関及びほぼ指導が行われていない医療機関(月1件未満)の数は、29医療機関と変化はなかった。これら医療機関は固定されており、患者が高齢であるため指導しても理解・改善は困難であると医師が判断しているためであった。

◆月平均1～4件の医療機関が減少し、月平均5～9件の医療機関が増加。また、月10～39件の医療機関が減少し、月40～59件の医療機関が増加していることから、協力医療機関における指導がボトムアップの傾向にあることがうかがえる。

まとめ

- ◆協力医療機関における外来栄養食事指導件数は、1ヶ月1医療機関当たりに換算すると、わずか0.6件の増加にとどまった。しかし、月平均1～4件の医療機関が減少し、月平均5～9件の医療機関が増加するとともに、月平均10～39件の医療機関が減少し、月平均40～59件の医療機関が増加していることから、協力医療機関における外来栄養食事指導の進展が確認された。
- ◆栄養指導目的の紹介患者数が、月平均5.3人から7.1人と約2人増加。うち糖尿病患者数とその割合が、3.6人・68%から5.8人・82%と月約2人・14%増加したことから、件数としては少ないものの、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの導入により、協力医療機関への糖尿病患者の紹介が増加していると推測される。

参考【診療報酬の推移】

■外来栄養食事指導料算定レセプト数

(件)

H29年度	7,807
H30年度	8,057
対前年度比	103.2%

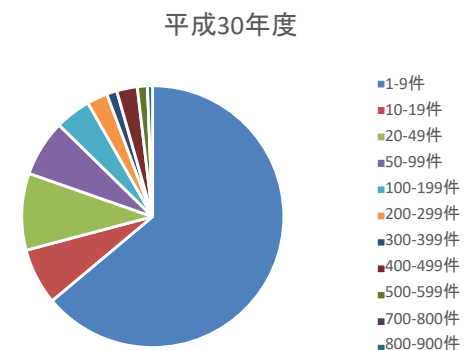
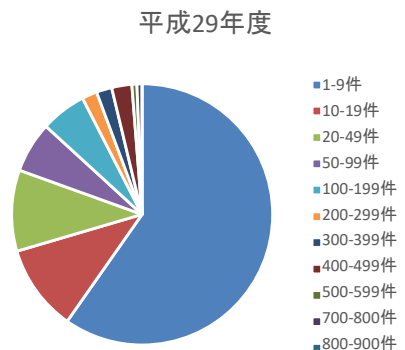
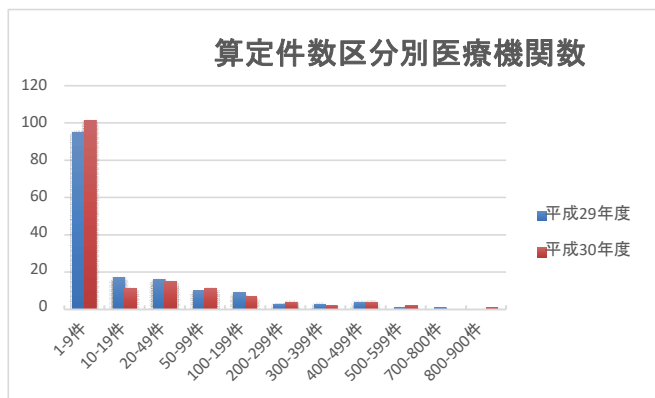
■外来栄養食事指導料算定医療機関数

(医療機関)

H29年度	159
H30年度	158
対前年度比	99.4%

■外来栄養食事指導料算定件数区分別医療機関数

	1-9件	10-19件	20-49件	50-99件	100-199件	200-299件	300-399件	400-499件	500-599件	700-800件	800-900件	合計
平成29年度	95	17	16	10	9	3	3	4	1	1	0	159
平成30年度	101	11	15	11	7	4	2	4	2	0	1	158



- ◆外来栄養食事指導料を算定した医療機関数及びレセプト件数には、ほぼ増減はない。
- ◆年間算定件数が一桁と月平均1件に満たない医療機関が、両年度とも約60%を占めている。(協力医療機関における割合:H29【39%】・H30【38%】)
- ◆栄養食事指導を実施(診療報酬を算定)する医療機関の増加、医療機関当たりの栄養指導件数の増加が望まれる。
そのためには、令和元年度から取組を開始した「管理栄養士紹介制度」の活用も含めた医療機関での管理栄養士の雇用促進、医療機関内での栄養食事指導の促進に向けた取組が必要と考えられる。

項目	番号	P(計画)	D(実行)	C(評価)	A(改善)	
					課題	今後の対策
予 防	1	<ul style="list-style-type: none"> 【健康長寿政策課】(生活習慣の改善) 健康づくりロモモ(30秒テレビ広報、年間104回)による栄養・運動・ストレス・喫煙・飲酒・血管病の重症化予防・高血圧等の啓発 高血圧対策サポーター企業による高血圧の啓発 減塩プロジェクトによる減塩等の啓発 高知家健康サポート事業による健康づくりの県民運動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりロモモによる啓発 栄養6回、運動5回、ストレス2回、喫煙5回、飲酒3回、血管病の重症化予防2回、高血圧2回放送(R1.9月末) 高血圧対策サポーター企業による啓発 認定企業520事業所(H31.3月末)(コンビニ、薬局等)による高血圧予防の啓発(家庭血圧測定、運動、野菜摂取)を展開(通年) 減塩プロジェクトによる啓発 参加企業34社(H31.3月末)(スーパー、食品メーカー等)による減塩の啓発や減塩商品の紹介等を展開(通年) 高知家健康サポート事業 サポート取得者数 38,737名(R1.7月末) 高知家健康サポーターによる健康づくりの呼びかけ アプリを活用したウォーキングイベントの開催 			
	2	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉保健所】(生活習慣の改善) 幅多福祉保健所・医療機関・市町村・団体が連携した啓発イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 9月、四万十市の量販店において「わくわく食育イベント」を開催。血管・脳年齢の測定、野菜の重量当て、栄養・健康・薬・歯科相談、体操等のブースを設置し、来店客に生活習慣改善の啓発を行った。 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 【医師会・CDE高知・福祉保健所】(生活習慣の改善) 東部地区の関係機関が連携した啓発活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安芸元氣フェスタ(10/27)での寸劇実施、血糖測定・健康相談・フードモデル展示コーナー等の出展 芸西村みのりの王国フェスタ(11/18)での血糖測定・健康相談・フードモデル展示コーナー等の出展 			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 【高知県医師会・日本糖尿病協会高知県支部】(糖尿病の知識の普及) 市民公開講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 世界糖尿病デーにあわせ、11/17(日)に高知市で開催 			
	5	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉保健所】(糖尿病の知識の普及) 安芸福祉保健所による糖尿病講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病に関する知識を地域ぐるみで普及することを目的に健康づくり団体を対象とした糖尿病講座を開催(12/16開催予定) 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 【医療政策課】(糖尿病の知識の普及) マスメディア等による県民への啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ放送:RKCラジオ「県からのお知らせ」(5分)で糖尿病の危険性、コントロール法、健診・受診の重要性等について啓発(7/24) オーテピアでの展示:2階共同楽習スペースにて病態・危険性・予防法等についてパネル展示(9/28~10/24:来館者数 81,661名) 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 【健康長寿政策課】(健康診断の受診率向上) 特定健診、特定保健指導の受診率向上対策 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村国保の40歳代前半、60歳代前半をターゲットとして受診勧奨リーフレットの配布(6月) 特定健診情報提供事業の実施 特定保健指導従事者のスキルアップを図るため研修会を開催(6月初任者編、7月経験者編Ⅰ、1月経験者編Ⅱ 全3回) 			
患者への対応	8	<ul style="list-style-type: none"> 【健康長寿政策課】(糖尿病の重症化予防) 高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく重症化予防対策 基幹病院における生活指導の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病アドバイザー派遣事業の実施(通年) 血管病重症化予防対策研修会の開催(8/21) 対象者への受診勧奨や保健指導の際に活用できる糖尿病リーフレット、指導教材の作成 モデル基幹病院(あき総合病院、高北病院)にて糖尿病保健指導連携体制構築事業の実施(委託:高知県立大学) 関係者の連携促進に向けた安芸市、佐川町地域連絡会の開催 			
医療提供体制	9	<ul style="list-style-type: none"> 【高知県医師会】(専門職のスキルアップ) 勉強会等でのCDE高知単位取得機会の確保 	<ul style="list-style-type: none"> CDE高知の単位も取得もできる日本医師会生涯教育講座認定研修会の認定(11月末現在:高知糖尿病研究会5回) 			
	10	<ul style="list-style-type: none"> 【高知県栄養士会】(専門職のスキルアップ等) 栄養指導技術の向上のため、継続してスキルアップ研修会を開催する。また、生涯教育や栄養CS登録者研修会の実施により活動できる管理栄養士の育成を図る。 栄養ケア・ステーションに専任コーディネーターを配置し、診療所で栄養食事指導が受けられるよう管理栄養士の派遣調整等体制整備を行う。 協力医療機関からの外来栄養食事指導報告書の集計と分析を行い、事業の推進及び指導件数の増加に向けた啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外来栄養食事指導推進事業報告書(冊子)を協力医療機関および栄養士会員等に配布し事業の啓発を行った。 外来栄養食事指導推進研修会を高知市と四万十市で開催し(6月)、延べ127名が参加。3回目研修会を12月に予定。 栄養ケア・ステーションを通じて診療所に非常勤勤務する管理栄養士等への勉強会を開催(7月)。 高知市、香南市、土佐町、四万十市の4診療所で外来栄養食事指導を開始(8月~)。 日本糖尿病療養指導学会(7月)、日本公衆衛生学会(10月)、高知糖尿病チーム医療研究会(11月)で発表。 外来栄養食事指導報告書の集計(7・10月) 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉保健所】(専門職のスキルアップ・連携促進) 幅多福祉保健所による糖尿病重症化予防に関する研修会の開催 安芸福祉保健所による糖尿病研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 【幅多福祉保健所】医療・福祉関係者を対象に「糖尿病治療の最新の変化」と題した研修会を開催する。(12/11開催予定) 【安芸福祉保健所】糖尿病療養指導に関わる専門職の資質向上やネットワークづくりを目指して、糖尿病研修会を開催した。(7/11・24名参加、12/16開催予定) 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> 【医師会・薬剤師会・CDE高知・福祉保健所】(専門職のスキルアップ・連携促進) 東部地区の関係機関が連携した活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 高知県東部の糖尿病性腎症重症化予防を考える会(8/5・56名参加) CDE高知東部地区勉強会(全4回開催:1~3回・207名参加、12/5開催予定) 日本糖尿病療養指導学会集でのCDE高知東部地区の活動紹介(ポスター掲示)(9/21~22) 日本公衆衛生学会でのCDE高知東部地区の活動紹介(ポスター掲示)(10/23~25) 			
	13	<ul style="list-style-type: none"> 【健康長寿政策課】(歯科健診の受診勧奨) 歯周病と糖尿病の関連について一層の周知を図る 全市町村での成人歯科健診実施開始を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病予防をテレビCM・ポスターにより啓発 市町村事業の成人歯科健診集合契約の仕組みを構築した(実施市町村数 H30:12→R1:30) 			
	14	<ul style="list-style-type: none"> 【医療政策課】(外来栄養食事指導の体制整備) 「協力病院制度」の拡大 診療所の管理栄養士雇用を促す「管理栄養士紹介制度」と「雇用促進費補助金」の創設・活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> 協力医療機関の募集(4/22・課長通知) ⇒92医療機関と15増加(11月現在) 協力医療機関制度の説明・協力依頼(5月3回・病院事務長会) 高知県栄養士会との委託契約締結(5/9) ⇒管理栄養士の紹介調整等を担うコーディネート業務を追加 管理栄養士雇用促進費補助金の創設(5/24) 高知県栄養士会への交付決定(6/19) 管理栄養士紹介制度の活用手順書の作成、活用依頼(6/14・8/27文書通知)(6~7月 22診療所への個別説明) ⇒5診療所が活用(11月現在) 日本一の健康長寿県構想の特別番組放映による事業の周知(KUTV・9/1、9/22放映) 			